

3 4 セルフスタンドにおける吹きこぼれ対策

平成18年7月に、石油連盟等4団体が総務省消防庁に報告した「ガソリン吹きこぼれに関する実態調査報告書」では、セルフスタンドの95.5%で「最近1年間で、吹きこぼれが発生したことがある」という結果になっています。

給油中に燃料の吹きこぼれが発生し、これに引火した場合には、給油作業を行っている人に被害が生じることが考えられます。

給油中の燃料の吹きこぼれを防止するため、その対策を確認しておきましょう。

給油時の燃料の吹きこぼれ防止対策

(1) 適切な給油方法の周知

固定給油設備に表示することなどにより、セルフスタンドを利用する顧客に適切な給油方法を周知する。

- ①給油ノズルを止まるところまで確実に差し込む。
- ②給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引く。
- ③自動的に給油が止まったら、それ以上の給油はしない。
- ④給油後は、給油ノズルを確実に元の位置に戻す。

(2) 給油ノズル等の維持管理

法定点検に加えて、随時日常点検を行い、給油ノズル等に故障のないこと（基準に適合していること）を確認する。

(3) スプラッシュガードの設置

給油ノズルにスプラッシュガード（ガソリン等が吹きこぼれても人体にかかるのを防ぐためのつば状の部品）を設置する。

<こちらをあわせて御覧ください。>

セルフのガソリンスタンドで給油する際の注意点について（消防課ホームページ内） <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0404/fukikobore.html>



©埼玉県2005